



ヨコハマ SDGs「見える化」プロジェクト (ヨコハマの子ども達が「SDGs」を自分事化)

事業目的

「SDGsをご存知ですか？」近隣地域の学校や市民の方々、子ども達に、事あるごとにお尋ねしていますが、まだまだ浸透していないのが現状です。

来年は2020年東京オリンピックの年。インバウンドが加速し、日本のSDGs浸透力が試される年でもあります。

「ヨコハマ SDGs「見える化」プロジェクト」を始動し、地域の学校が取り組む「環境」「社会」などの活動に対して、どのSDGsの目標にマッチングするのか紐付けワークショップを開催。

弊社の社員が出向いて「SDGs」を共通言語に既存の取り組みと、これからすすみたい取り組みについて話し合います。(ワークショップの際には弊社の「SDGsを忘れないメモ帳」を使用。)

また、ワークショップでの一時的な学びにとどまらず、校内各箇所にSDGsのパネルを設置し、(たとえばリサイクル資源箱には12番のパネルを設置。給食室前には2番のパネルを設置など)学校全体でSDGsを「見える化」し、浸透をはかります。

またSDGsクイズも織り交ぜながら、子ども達が楽しくSDGsを学ぶ機会を創出し、実はとても身近なところに「SDGsへの貢献」があることを知ってもらう、「SDGs自分事化」を促進していきます。

事業計画

【内容】

- 工場見学でもつながりのある小学校や近隣の小中学校に打診。
- 「SDGsを忘れないメモ帳」を用いて、SDGs17項目の目標紐付けワークショップを開催。
ワークショップは子どもたち、学校の先生方や保護者などを対象に開催
どんなことがすでに取り組んでいる事柄なのか？
持続可能な未来に向けて、これからどんなことを取り組んでいきたいか？
割り出された目標に対して、SDGsパネルを設置することで「見える化」
- 「実は身近なSDGs」を割り出し、クイズ形式で掲示。

【体制】

- 弊社がプロジェクト全体の統括、関係各所との交渉にあたります。
- SDGsパネル、メモ帳の製作については、印刷は当社、製本はパートナー企業と連携をしてすすめます。

問合せ先

株式会社 大川印刷

代表者氏名 大川 哲郎

〒245-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 2053

TEL : 045-812-1131 (担当: 品質保証部 草間 綾)

FAX : 045-812-1135 E-mail : kusama@ohkawa-inc.co.jp